

写真展 藤間扇玉のあゆみ

2025. 2.28 FRI - 3.9 SUN

長きにわたりお引き立てご鞭撻をいただきまして賞をお受けすることになりましたこと、多くの皆様方に伏して御礼を申し上げます。

わたくしの健康を願って両親が導いてくれました日本舞踊の世界。この道で人生の大切なこととお勉強させていただきました。美しい舞を目指すことは日本の精神を学ぶことだと知りました。

人生を振り返りますと、大変悲しかったこと、とても苦しかったことを思い出しますが、賞をお受けしたことで全てが「ハッピー」に変わりました。

賜りましたその財産をけがさずに、日本の伝統文化である日本舞踊をしっかりと守り、学び、のちの人々にお伝えしていくべくこれからも精進してまいります。踊ることを通じてお一人でも多くの方に幸せを感じていただけますようにとも念じております。

今後ともご指導ご鞭撻のほどを宜しくお願い申し上げます。



藤間扇玉

- 昭和 13 小樽市に生まれる
- 昭和 33 札幌藤女子短期大学卒業
- 昭和 42 第1回おたる潮まつり「おたる潮音頭」の振付考案に参画
- 昭和 50 小樽市文化団体協議会「郷土文化振興功労表彰」受賞
- 昭和 52 おたる潮まつり10周年を記念した新たな踊り「潮踊り唄」の振付考案に参画
- 昭和 61 小樽市文化団体協議会理事に就任
- 平成 11 北海道邦楽舞協会運営委員に就任
- 平成 16 第30回藤間流藤扇会舞踊会に出演（東京国立劇場）藤間流藤扇会北海道支部世話役（現・役員）に就任
- 平成 17 「小樽市文化賞」受賞
- 平成 18 文化庁事業「伝統文化こども教室」日本舞踊教室を開講
- 平成 21 「小樽伝統文化の会」の設立に参画し、会長に就任
- 平成 26 師籍50周年 藤間扇玉会舞踊発表会「箏曲 春の舞」出演
- 平成 28 「小樽市功労者（教育文化部門）表彰」受賞
- 令和 1 公益社団法人日本舞踊協会北海道支部長に就任
- 令和 6 「北海道文化賞」受賞 師籍60周年



▲第50回おたる潮まつり潮ふれこみ 平成28年
撮影 薬師邦弘
▼「常磐津 独楽」昭和40年代（小樽市民会館）

「義大夫 竜虎」藤間秀豊・藤間扇玉 / 師籍20周年藤間扇玉会舞踊発表会 昭和57年（小樽市民会館）

「大和楽 花しくれ」藤間扇玉・藤森玉恵（次女）・藤森彩（三女）／藤森茂男を偲んで 藤間扇玉会舞踊発表会 昭和62年（小樽市民会館）

▲「長唄 鶯娘」／藤間扇玉会舞踊発表会 昭和49年（小樽市民会館）

▼「大和楽 蝶」藤間扇玉会舞踊発表会 昭和53年（小樽市民会館）

北海道文化賞受賞・師籍六〇周年記念 写真展 藤間扇玉のあゆみ

日本舞踊藤間流扇玉会会主・藤間扇玉（本名・藤森茂子）は、おたる潮まつりの「潮音頭」「潮踊り唄」の振付を考案した一人として知られています。藤間流名取（一九六二）、師範（一九六四）となつて以来、懸命に指導にあたり、舞踊家・指導者として長年にわたる地道な活動を続けてきました。東京国立劇場の舞台に三度出演し、娘三人も見事に名取、師範に育て上げました。のちに運河保存運動に命をかけ、四十九歳で世を去った夫・藤森茂男とは、潮まつりの立ち上げで運命的な出会いを果たしています。夫の死後、決して後ろを振り向かず、前に進む事だけを考え、自らの道を究め、「小樽伝統文化の会」を設立し会長に就任。「和を遊ぶ」を通じて、多彩な日本の伝統文化を普及させました。このたび、藤間扇玉は、右記の功績が認められ、令和六年度「北海道文化賞」に選ばれました。本展は、小樽の誇りである藤間扇玉の北海道文化賞受賞と師籍六〇周年を記念し、写真と映像によって、その足跡をたどるものです。

関連事業

対談

二月二十八日（金）午後二時～三時半
「私の舞踊と人生」～私の中の歴史より
藤間扇玉 聞き手／宮本武

鼎談

三月二日（日）午後二時～三時
「古平町民謡「たらつり節」」のこと
藤間扇玉×高橋寿美（たらつり節踊り保存会代表）×杉本真沙彌（たらつり節愛好会小樽代表）
歌唱と踊り 三月二日（日）午後三時
「古平町民謡「たらつり節」」
たらつり節踊り保存会×たらつり節愛好会小樽×藤間流扇玉会

ギャラリートーク 三月九日（日）午後一時～二時
「潮まつりのこと」

潮太鼓打演 三月九日（日）午後二時～三時半（最終日）
ご来場の皆様と潮音頭を踊ります。



市立小樽美術館

〒047-0031 小樽市内1丁目9番5号 tel 0134-34-0035

1階市民ギャラリー 観覧無料 休館日3/3（月）
関連事業のお申込み：市立小樽美術館（tel 0134-34-0035）

